

## 大学基準10. 内部質保証

## 中期目標

【目標1】大学の諸活動について点検・評価を行い、その結果を公表することで社会に対する説明責任を果たす。

【目標2】内部質保証に関するシステムを整備する。

【目標3】内部質保証システムを適切に機能させる。

## (1) 大学評価委員会

中期計画【計画1】(目標1に対応する計画)		達成度評価指標【指標1】
[1-1] 定期的(年度単位)な自己点検・評価活動に基づき、自己点検・評価に関する年次報告書をホームページに公開する。		①刊行、掲載の有無
2019年度	<b>年次計画内容</b> [1-1] 「年次報告書」の刊行及びHPでの公開のほか、法で定められた情報公開を適切に行う。	<b>計画実施状況</b> HPの情報公開ページについて、内容を点検し公開をした。今年度は「校舎耐震化率」「寄附行為」「役員名簿」など、学校法人の情報公開を充実させた。
<b>指標に基づく中期目標の達成状況</b> 年次報告書の作成及び公開については、今年度も滞りなく実施した。法に定められた情報公開もホームページで適切に行っている。		
2020年度	<b>年次計画内容</b> [1-1] 「自己点検・評価に関する年次報告書」の刊行及びHPでの公表を行う。また、法に定められた項目についても、情報の公表を適切に行う。	
中期計画【計画2】(目標2に対応する計画)		達成度評価指標【指標2】
[2-1] 「札幌学院大学大学評価に関する規程」に基づき実施する「自己評価」において、以下を実施する。 ①「事業実績報告」において、計画実施により中期目標の達成状況を評価する指標を導入するとともに、それに基づく「改善・発展の方策」を翌年度の「事業計画」に反映する。 ②中期目標の達成状況を組織的に検証する仕組みを構築する。		①「事業実績報告書」と「事業計画」書式の変更結果 ②新書式に基づく各部局、大学評価委員会・全学運営会議・大学協議会における審議実績
2019年度	<b>年次計画内容</b> [2-1] 前年度に依頼した重点課題の実施状況を確認し、必要に応じて改善を促す。	<b>計画実施状況</b> 2018年度の重点課題の取組実績を点検し、大学執行部へ報告をした。 特に「授業内容とシラバスの整合性の確保」、「学習成果を把握及び評価するための方法」については改善が必要と判断し、学長を通じ改善を要請した。(第2回委員会審議1)
<b>指標に基づく中期目標の達成状況</b> 各部署から「事業計画」と「事業実績報告書」が滞りなく提出されている。		
2020年度	<b>年次計画内容</b> [2-1] 本学の自己点検・評価の取組を「認証評価報告書」に取りまとめる。また、中期目標の達成状況を組織的に検証するために構築した仕組み(評価指標の導入)について、その成果と課題を整理する。	
中期計画【計画3】(目標3に対応する計画)		達成度評価指標【指標3】
[3-1] 根拠に基づいて、大学の諸活動を客観的に評価する取り組みを学内に浸透させることで、大学自らが評価・改善・改革を行うという仕組みの実質化を図る。 [3-2] 内部質保証の充実という観点から、第三者による「外部評価」のあり方を、有効性・現実性の両面から検討する。		[3-1] 「点検項目」による結果 [3-2] 外部評価導入検討報告書作成
2019年度	<b>年次計画内容</b> [3-1] 全学内部質保証推進組織である本委員会が、実質的なマネジメント組織としての活動を実施する。	<b>計画実施状況</b> 学長を中心とした大学執行部に対し、改善が必要な取り組みの要請を行った結果として、2019年度は学長から「3ポリシーの見直し」、教務部長から「シラバスの改訂」、「修学ポートフォリオの実施」などが提案され、取り組みが進んでいる。
<b>指標に基づく中期目標の達成状況</b> 大学評価委員会による検証を重点課題に絞ったことにより、より具体的な点検及び要請を実施することができた。		
	<b>年次計画内容</b> [3-2] 前年度に提出した「改善報告書」の結果通知を踏まえた対応を検討する。	<b>計画実施状況</b> 学生受け入れの状況としては、学部については2020年度入学予定者が順調に推移し、定員充足率の回復が見込める。このことを踏まえ、認証評価報告書で改善報告を行う。
<b>指標に基づく中期目標の達成状況</b> 外部評価についての検討は行っていない。 当面は認証評価の対応に注力する。		
2020年度	<b>年次計画内容</b> [3-1] 「3つのポリシーを踏まえた点検・評価」サイクルの確立に向けた具体化を図る。 [3-2] 「3つのポリシーを踏まえた点検・評価」サイクルについて、学外の客観的視点を取り入れるように検討する。	